

ブラジル岐阜県人会 長屋充良会長 来市

平成30年4月16日(月)にブラジルサンパウロ市よりブラジル岐阜県人会 長屋充良会長が中津川市を訪れ、青山市長と対談をしました。

長屋会長は旧板取村(現在の関市)出身で、1982年に仕事の関係でブラジルに渡り、現在はサンパウロのモエマ地区で整形外科やリハビリのクリニックを営んでおられます。ブラジル県人会へは2010年に入会され、理事を8年務められ2018年2月25日に会長に就任されました。

対談の中では4月2日から放送されている、NHK朝ドラ「半分、青い」に関する話題に触れ、長屋会長が「ブラジルにいて岐阜という名前を聞くだけでもうれしい」とお話されました。

また、県人会が行う「岐阜県農業高校生海外実習派遣事業」に中津川市からも多くの高校生が参加しており、若者に経験を与えてくれる事業に感謝していると青山市長から話がありました。

10月のブラジルレジストロ市への公式訪問団の派遣にむけ、県人会の活動や中津川市の近況について話し合い交流を深めました。

